

5 成績について

1. 成績発表

成績の発表は、下記の方法にて閲覧できます。

1) 前期成績

後期授業開始前に在學生は、KAIT Walkerを介して確認できます。
また、保護者の方は、保護者ポータルサイトより確認できます。

2) 後期成績

3月中旬に在學生はKAIT Walkerを介して確認できます。
記載の成績は、当年度に自分が修得できた単位です。
また、保護者の方は、保護者ポータルサイトより確認できます。

2. 成績評価

■ 本学の成績評価表示

成績評価		基準点
S	〔秀〕合格	基準 100点～90点
A	〔優〕合格	基準 89点～80点
B	〔良〕合格	基準 79点～70点
C	〔可〕合格	基準 69点～60点
N	〔認定〕合格	—
E	〔不可〕不合格	59点以下
X	〔受験放棄その他で評価不可能な場合の不可〕不合格	—
D	〔不可〕不合格	59点以下、次年度の受講を免除する

※再試験による成績評価には、原則としてS・Aは付きません。

3. GPA 制度

GPA (Grade Point Average) とは、各科目の成績評価 (Grade) に加重点 (Point) を付与し、それに単位数を掛け取得したポイントの合計を、履修合計単位数で割った1単位あたりの平均値 (Average) です。

GPA制度は、米国において一般的に行われている学生の成績評価方法であり、本学でも2003年度から使用しています。

1) GPAの評価別加重点

■ GPAの評価別加重点

成績評価 (Grade)	加重点 (Point)
S	4 点
A	3 点
B	2 点
C	1 点
E	0 点
X	0 点
D	0 点

■ GPAの対象外となる科目

N [認定] 科目や、履修単位数の上限設定 (CAP制) の制約を受けない科目は、GPAの対象外となります。

■ GPAの加重点で加算となる科目

科目名		加重点の加算
線形代数学	I-b・II-b	同名称のa・c科目に比べて難しい内容であるため、GPA算出の際に加重点に0.5加算されます。
基礎力学	I-b・I-d	
基礎力学	II-b・II-d	
基礎電磁気学	I-b・II-b	
基礎化学	I-b・I-d	
基礎化学	II-b・II-d	

2) GPAの計算方法

$$\text{GPA} = (\text{各成績評価の加重点} \times \text{単位数}) \text{の合計} \div \text{履修単位数}$$

※小数点第3位を四捨五入します。

POINT

再履修科目が合格した場合は、当該不合格科目の履修単位数が分母から除外されます。

■ 計算例

履修科目	単位数	評価	Grade Point
哲 学	2	C	2 × 1
心 理 学	2	S	2 × 4
英 語 I	1	A	1 × 3
微 分 積 分 学 I - c	3	B	3 × 2
線 形 代 数 学 I - a	2	B	2 × 2
化 学 A	2	E	2 × 0
学外スポーツ	1	A	－ (CAP制の対象外)
応 用 力 学	2	B	2 × 2
基礎電気回路	3	A	3 × 3
データ解析入門	2	S	2 × 4
基礎工学演習Ⅱ	2	S	2 × 4
	21 (学外スポーツは除く)		52

$$\text{GPA} = \frac{52 \text{ (Grade Pointの合計)}}{21 \text{ (単位数)}} = 2.48$$

3) GPAの予備知識

■ 履修キャンセル

「履修はしたが合格の見込みがない」と判断した科目は、自分の意思で前期は5月16日～25日（通年科目はこの期間のみ）、後期は10月18日～27日の期間に履修キャンセルができます。

この履修キャンセルを行うと、GPA計算の分母となる履修単位が消え、GPAに影響しません。なお、この期間に履修の追加登録はできません。

前期に履修キャンセルした分の単位は、後期の履修時にCAP制の範囲内で加算できます。

■ GPAの注意事項

- 履修登録において、履修する科目を厳選することが重要になります。履修要綱やシラバスを熟読し、CAP制の範囲内で履修をします。大学の授業は自分で考え、情報を収集し、自己の責任で履修、学習することが前提です。
- 最も重要なことは、履修した科目を不合格にしないということです。不合格科目の単位数は分母として計算しますので、GPAを下げることになります。「履修キャンセル」という制度はありますが、キャンセルすることで単位数が不足して留年になる恐れがあるので慎重に行ってください。

4. 卒業要件・卒業研究履修の資格の確認（重要）

入学時に配付する履修要綱に、卒業するために必要な単位の詳細（卒業要件）と卒業研究を履修するために必要な単位の詳細（卒業研究履修の資格）が記載されています。

条件は各学科・コースごとに定められています。

成績表を受理後、単位の集計欄を確認し、条件に不足している単位数・科目数を把握することは、次期の履修のためにも、またスムーズに卒業するためにも、とても重要です。